

冬季講習

【必修領域】 「全ての受講者が受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	受講人数
A06	教育の新動向	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）」「子どもの生活の変化をふまえた課題」の4つの事項についての理解を深めることを目指す。	福島 裕敏(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 松本 大(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 桐村 豪文(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 田名場 忍(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 中山 忠政(教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域 講師) 増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 野崎 茉莉(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 小玉 有子(弘前医療福祉大学 保健学部 教授) 平岡 恭一(弘前医療福祉大学 短期大学部 教授) 吉崎 聡子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 助教)	オンデマンド	令和2年12月5日 ～令和3年1月3日	6時間	全教員	—

【選択必修領域】 「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

講習番号	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
B01	教育課程・学校経営	「学習指導要領の改訂の動向等」および「様々な問題に対する組織的対応の必要性」の事項について、各校種や教科の教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 三上 雅生(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 石戸谷 繁(東北女子大学 教授) 宮崎 充治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年1月9日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	100人
B08	アクティブ・ラーニング	アクティブラーニングについての理論的な理解を行うとともに、アクティブラーニングの手法をワークショップの形式で体験し、実践的にも理解することを目指す。また、アクティブラーニングの学びをどのように評価するか、従来の学習指導にどのように組み込むかについても学ぶ。	森本 洋介(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和2年12月27日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	50人
B09	キャリア教育の理論と実践	現代の雇用情勢や若者の職業意識を踏まえながら、学校現場で求められている進路指導やキャリア教育のあり方について理解を深める。また、具体的な教育方法や援助についての知識やスキルについても習得することを目指す。	吉中 淳(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 吉崎 聡子(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 助教)	オンデマンド	令和2年12月5日 ～令和3年1月3日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	—

【選択領域】 「受講者が任意に選択して受講する領域」

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C59	国語	説明的文章指導の理論と方法	説明的文章が戦前・戦後どのように指導されてきたのか、学習指導要領、研究者の理論、民間教育団体の考える指導過程等を通して考える。また、それらを踏まえ、今後求められる指導の在り方を現在使用している教科書教材を通して演習を行い、考えを深める。	田中 拓郎(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和2年12月12日	6時間	教諭	小学校教諭、中学校国語科教諭	50人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C40		C40 EU経済の現状と課題 開講中止	デジタル化と統一通貨ユーロの導入を果たし世界経済の展開を左右する巨大な影響を及ぼしている欧州連合(EU)について、その歴史と現在の展望などについて経済的側面を中心に簡潔に解説します。	細矢 浩志(教育研究院人文社会・教育学系社会科学領域 教授)	弘前市	令和2年12月20日	6時間	教諭	中学校・高等学校社会科教諭	50人
C60	社会 地歴 公民 商業	今日の社会と社会科授業	児童・生徒を取り巻く生活環境や社会の状況がめまぐるしく変化する中において、社会科の授業はどのようにあるべきなのか。今日求められている社会科の役割、授業のあり方について理論的な側面と実践的な側面の両方から検討していく。講習の中では、受講者が抱える授業に関する課題や率直な悩みを取り上げつつ改善の方向性を探っていく。	篠塚 明彦(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 小瑠 史朗(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和2年12月12日	6時間	教諭	小学校、中学校(社会科)教諭	25人
C08		C08 化学実験(中学校・高等学校) 開講中止	理科もしくは高等学校化学(一部物理と生物)で扱われる実験を行い、物質の性質を科学的に理解することを目指す。薬の色、炎色反応、めっきなどを予定している。	島田 透(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和2年12月13日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭および特別支援教諭	8人
C61		C61 動物の発生と再生 開講中止	発生生物学の研究から、受精卵から個体が作られるまでの発生メカニズムを動物間で広く保存されており、ショウジョウバエからマウスまで共通の遺伝子発現パターンが示されている。その一方で体の一部を傷つけられた際に見られる再生能力は動物間で大きく異なる。本講習ではこれら動物の発生と再生メカニズムについて概説するとともに、理科教育の一例としてアフリカツメガエルの胚発生の観察の実演を行う。	横山 仁(教育研究院自然科学系農学・生命科学領域 准教授)	弘前市	令和2年12月12日	6時間	教諭	中学校・高等学校理科教諭	10人
C62		C62 ウニ・ホヤの発生観察・クマムシの観察 開講中止	実習では教科書でおなじみのウニと、発生学研究されているホヤの受精・発生を実際に顕微鏡で観察を通して、実験手法と発生現象に関する知識の習得を目指す。また、クマムシは通学路や学校の敷地内でも採集できるクマムシの仕組みや生態について学び、微小な動物の生活史や、また海辺で容易に採集できるクマムシ類で極端な環境適応の実験の指導方法を習得します。	大高 明史(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 美濃川 拓哉(東北大学大学院 生命科学研究科 准教授) 藤本 心太(東北大学大学院 生命科学研究科 助教(研究特任)) 中本 章貴(東北大学大学院 生命科学研究科 助教)	青森市	令和2年12月12日	6時間	教諭	小・中・高等学校理科教諭	15人
C66	理科	アクティブ・ラーニングに向けたマイクロスケール実験－粒子分野(化学)の実験を中心に①	学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も期待され、特別支援教育でも注目の「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。小学校理科の新学習指導要領・粒子分野(化学)の中からは第6学年「水溶液の性質」と簡単なプログラミング、中学校や高等学校では、電池や電気分解を中心に、実験を通して指導法を考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	オンデマンド	令和2年12月5日 ～令和3年1月3日	6時間	教諭	特別支援学校教諭、小学校教諭、中学校・高等学校理科教諭	—
C68	理科	化学実験－中学校・高等学校を中心に	中学校理科および高等学校化学の新学習指導要領に沿って、新たに加えられたり戻された学習項目を中心に、実験を通して理科の化学分野の指導法を考える。また発展的な実験も行い、化学教材について学習する。具体的には、例えばイオンの実験や、モル概念の実験などを行う。次期学習指導要領で導入される「アクティブ・ラーニング」への活用も考えられ、特別支援教育で注目されている「マイクロスケール実験」について、その概念と具体的な方法について実験を通して考える。	長南 幸安(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 島田 透(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	オンデマンド	令和2年12月5日 ～令和3年1月3日	6時間	教諭	特別支援学校教諭、小学校教諭、中学校・高等学校理科教諭	—
C05	音楽	音楽科の学習指導	「最初のオンガクを探る」をテーマとする。小・中・高音楽科のカリキュラム(創作を基盤とした歌唱、器楽、鑑賞へのアプローチ)について、サウンドスケープとサウンド・エデュケーションをキーワードとして具体的な授業実践例を提示するとともに、新学習指導要領に示された「資質・能力の育成に関する3つの柱」(協働)及びActive Learning、音楽のUniversal Design(インクルーシヴ教育も含む)についても考察する。本講習は音楽科教諭以外も対象とする。	今田 匡彦(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和2年12月19日	6時間	教諭	幼・小・中・高教諭、特別支援教諭	40人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C51		C51 コンピューターグラフィックスの基礎 開講中止	2次元コンピューターの基礎を学びます。図形操作のベクター系と写真操作のラジエーション系、それぞれの表現方法の違いなどを演習を通して学習し、方法を総合して作品を制作し評価します。作品サイズはA4で、1日目は午前中に講義し、午後は操作を主体に演習を行い、午後を通して作品制作を行います。この作品を評価課を通して、美術におけるコンピューター作品制作の考察もお願いします。	石川 善朗(教育研究院人文社会・教育学系 教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和3年1月9日 ～令和3年1月10日	12時間	教諭	小・中学校、高等学校教諭(美術)	12人
C70		C70 木彫—道具作りと作品制作— 開講中止	に進む現代、初等・中等の教育現場において「手でものをこつ」を伴う体験的学習はこれから益々重要になってくるのでは。講習では、木彫小品作品の制作を通じ、刃物を扱う授業における確かな指導を安全面も含めて考えていきます。また、道具の研ぎを体験し、切れる刃物とはどのような形かなども学びます。	塚本 悦雄(教育研究院人文社会・教育学系 教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和2年12月26日 ～令和2年12月27日	12時間	教諭	小学校教諭(図画工作)、中学校・高等学校教諭(美術)	10人
C19	保健体育	ボールゲームの授業づくり	小学校(高学年)、中学校、高校の正課体育ボールゲームの指導力向上を目的に実施します。指導要領ではベースボール型・ゴール型・ネット型と別れて明記されていますが、各領域を網羅して指導することに不安や戸惑いを感じているのではないのでしょうか？本講習では、ボールゲームを「ボール移動ゲーム」と捉え、生徒・児童に主体的な学び及び深い学びを体感・実感させられる授業づくりの指導力向上を図っていきます。また、講習の内容は正課体育担当者だけでなく部活動の指導者にも有益と思います。	益川 満治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和3年1月11日	6時間	教諭	全教諭(主に保健体育教諭、部活動指導教諭)	30人
C44	看護	生活習慣と健康	近年の保健医療において重要課題である生活習慣病についてとりあげ教授します。また、学校生活や家庭生活におけるこどもの生活習慣や感染予防行動に関することを教授します。 ○生活習慣病と予防(漆坂) ○学校生活・家庭生活における生活習慣と感染予防(高橋) ○運動の効果(井瀧)	井瀧 千恵子(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 高橋 徹(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 漆坂 真弓(教育研究院医学系保健科学領域 講師)	弘前市	令和2年12月20日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	15人
C45	看護	子どもの急変時の対応	本講習では、学校安全や危機管理の立場から、子どもの身体の健康観察時の基本、子どもや教職員の救急場面における緊急性の判断や初期対応、救急処置について取り上げます。さらに、緊急時の対応について、講義と実習(シミュレーション教育など)を交えて理解を深めます。	藤田 あけみ(教育研究院医学系保健科学領域 准教授) 會津 桂子(教育研究院医学系保健科学領域 講師) 山崎 千鶴(弘前医療福祉大学保健学部 助教) 土屋 涼子(教育研究院医学系保健科学領域 助教) 太田 一輝(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	令和3年1月5日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	36人
C48	看護	放射線の基礎と放射線看護	身の回りの放射線等の放射線に関する基礎や放射線事故・災害、その際の看護活動、医療に使われる放射線、放射線看護について学びます。 ○放射線の基礎(細川) ○放射線事故・災害時の看護活動(野戸) ○放射線治療の日常生活への影響(小倉)	細川 洋一郎(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 野戸 結花(教育研究院医学系保健科学領域 教授) 小倉 能理子(教育研究院医学系保健科学領域 教授)	弘前市	令和2年12月13日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	40人
C54		C54 食べものと放射線 開講中止	第一原子力発電所の事故後、懸念されている食品中の放射性物質に関する知識を学び、「食の安全」をわかりやすく情報発信できるようになることを目指します。放射線・放射性物質や人体影響についての基礎知識、食品中の放射性物質に関する講義に加え、簡単な計算演習等の実習を通じて、リスクコミュニケーション能力の向上を図ります。	小山内 暢(教育研究院医学系保健科学領域 助教) 對馬 恵(教育研究院医学系保健科学領域 講師) 北島 麻衣子(教育研究院医学系保健科学領域 助教)	弘前市	令和3年1月6日	6時間	教諭 養護教諭 栄養教諭	全教員	10人
C63		C63 小学校教員のためのプログラミング入門 開講中止	に関する学習経験の無い教員および学習経験の少ない教員が、プログラミングとはどのような行為か、プログラムによってどのようなことができるかといったプログラミングの基礎について、教育現場で体験的に学習する。	櫻田 安志(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和2年12月12日 ～令和2年12月13日	12時間	教諭	小学校教諭、特別支援学校教諭	8人

講習番号	教科	講習の名称	講習の概要	担当講師	講習の開催地	講習の期間	時間数	対象職種	主な受講対象者	受講人数
C65	技術 工業 農業	幼児教育・保育における木製遊具の活用	幼児教育・保育における積み木を中心とする木製遊具の有効性について理解を深めるとともに、幼児教育・保育で活用できる木製遊具に関する基礎的な知識と技能、指導法を学習する。具体的には理論に関する講義と木材を用いた遊具を構想・製作し、それらの活用方法について発表する。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授) 廣瀬 孝(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師) 武内 裕明(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和2年12月19日	6時間	教諭	幼稚園教諭	8人
C69	技術 工業 農業	小学校プログラミング教育入門	プログラミングについて全くの初心者の先生向けです。プログラミング教育実施の背景と意義、プログラミング的思考の意味などについて講義を通して理解を深めます。また、実践事例の紹介と複数の小学生向けプログラミングツール(教材)の体験実習・演習を通してプログラミングの基礎的な知識・技能を習得します。講習の最後に、演習で使用する教材を使ったカリキュラムを作成し、発表していただきます。	上之園 哲也(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和2年12月25日	6時間	教諭	小学校教諭・特別支援学校教諭	12人
C26		C26 マイコンで学ぶ計測と制御 開講中止	Arduino(アduino)を使用してデータの入出力の実験を行います。いろいろなセンサ(温度、放射線など)からの信号を処理・表示できます。単純な直流モーターまでの制御もできます。これら(計測と制御)を組み合わせたロボットシステムが作れます。実際の移動ロボットシステム等に関する研究成果を紹介します。	竹園 年延(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教) 長井 力(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 助教)	弘前市	令和2年12月5日	6時間	教諭	工業高校教諭および中学校、高等学校の理科及び技術の教諭	10人
C55		C55 レーザーを使った光学の基礎と応用 開講中止	レーザーの原理、医療や農業など様々な分野において利用されること、レーザーでは、光や、光を操る光学部品の基礎について解説。実験を体験することで、弘前大学で行われている光学関連の学習と関連付けて紹介するとともに、高校生の学習上の指導に資する話題として提供し、生徒の理数分野の学習を促します。	花田 修賢(教育研究院自然科学系安全システム工学領域 教授)	弘前市	令和2年12月5日	6時間	教諭	工業高校教諭、理数系教科担当中学校・高校教諭	20人
C57		C57 授業に生かす英語教育学 開講中止	学習活動が提案され続ける英語授業について、①歴史的な流れ、②それぞれのねらいと長所や短所を考察する。③演習として実践を立ててみる。以上の3つのことを通して考察します。アクティブラーニングについて、参加者全体でのディスカッションを通して理解を深めます。	佐藤 剛(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 講師)	弘前市	令和2年12月28日	6時間	教諭	中学校・高等学校英語科教諭	30人
C46		C46 特別支援学校における重複障害の子供の教育課程 開講中止	教育課程のうち、「特別支援学校(知的障害を主とした教育課程)」について、新課程等を参照・解説しながら、児童の教育課程編成の在り方を考察し、自立活動の教育課程上の位置づけを考察します。	天海 丈久(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授)	弘前市	令和2年12月12日	6時間	教諭 養護教諭	特別支援学校の教諭・養護教諭	30人
C71	幼児教育	幼児期の特別支援と保育援助	本時においては、特別な支援を要する幼児の保育について、なかでも、支援者の資質、“燃え尽き”や保育環境設定の観点から、それぞれ諸議論を紹介するとともにそれらをふまえた事例検討を行って、今後の保育支援につながる示唆を得ようとするものである。保育・幼児期の教育をテーマにする関係上、主な受講対象者は乳幼児の保育に直接関係する者(幼保連携型認定こども園保育教諭や幼稚園教諭、特別支援学校幼稚部など)に合わせた内容とする。	増田 貴人(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 准教授) 松浦 淳(青森中央短期大学 准教授)	弘前市	令和2年12月12日	6時間	教諭	保育教諭、幼稚園教諭	50人
C47	その他 (総合教育)	演劇的手法を活用した授業づくり	演劇的手法は、身体を動かし、協同の作業や話し合いを通して、架空の世界を生み出し、学習を促進する方法である。本講義においては、クラスの集団づくりに役立つアイスブレイク、国語や道徳におけるロールプレイ等、リサーチと組み合わせながら全身を使ったプレゼンテーションなどの演劇的手法の運用と理論、日本での実践の蓄積を実際の活動を通して学ぶ。本講習は小学校・中学校・高等学校全科目の教諭を対象とする。	宮崎 充治(教育研究院人文社会・教育学系教育・芸術領域 教授)	弘前市	令和2年12月19日	6時間	教諭	小・中・高等学校教諭	30人